

令和8年度事業計画書

大正琴による生涯学習活動を通じて、大正琴音楽の次世代への伝承と芸術文化の振興に寄与する目的で次の事業を行う。

1. 大正琴音楽文化の振興及び次世代への継承事業

1-1 次世代大正琴普及事業

(1) 小・中・高等学校等における大正琴普及事業（大正琴寄贈・講師派遣）

・事業の趣旨・内容

次世代の大正琴愛好者を育てるためには、子供達に大正琴音楽に接する機会を与え、音楽の楽しさを体感させる必要がある。加えて、大正琴が大正元年にタイプライターと二弦琴（八雲琴）の機能を勘案して発明された日本固有の楽器である等の日本の文化を伝える教育を行うことにより、次世代の大正琴愛好者を育てる。

そこで、当法人の社員等から使用しなくなった大正琴を譲り受け、メーカーで修理し、再生したものを全国の小中高校等の教育機関に寄贈するとともに、社員を講師として派遣して講習を実施する。

(2) 全国子供大正琴コンクール

・事業の趣旨・内容

学習意欲を高めるためには目標となる発表の場を設けることが大切である。

そこで、毎年全国子供大正琴コンクールを開催し、大正琴音楽に接した子供同士が交流を図る機会を作るとともに、切磋琢磨することにより相互の演奏技術向上を目指す。

更に次世代の大正琴音楽文化を担う子供達と大人の愛好者が世代を超えて交流を図るべく、よさこい高知文化祭 2026「大正琴の祭典」の子供の部と位置付け開催する。

日 時：令和8年11月29日(日)

会 場：高知市文化プラザかるぽーと 文化ホール（予定）
（高知県高知市）

参加者の範囲：高校生以下の全国の子供

1-2 大正琴演奏会

・事業の趣旨・内容

愛好者の生き生きとした姿を通じて、一般来場者に大正琴音楽文化の素晴らしさを伝え、大正琴による生涯学習活動の周知と効果の確認を行う。更に当法人正会員である社員を中心とした高度な演奏技術に裏打ちされた演奏を披露して一般愛好者に目標を示すとともに、日本文化としての大正琴音楽の芸術性と地位の向上を図る。

(1) よさこい高知文化祭 2026「大正琴の祭典」

日 時：令和 8 年 11 月 29 日(日)

会 場：高知市文化プラザかるぽーと 文化ホール（予定）
（高知県高知市）

参加者の範囲：全国の社員を中心とした団体及び一般団体

2. 組織活性化事業(普及功労者表彰事業・機関誌の発行)

(1) 普及功労者表彰事業

・事業趣旨・内容

永年にわたり大正琴音楽の次世代への伝承と芸術文化の振興に努めた社員や功労者の栄誉を称え表彰する。他の模範として知らしめることで、社会的信頼を確保することができ、社員の参画意欲を高める。

表彰予定数は 20 名程度。

(2) 機関誌「協会たより」の発行及び配布

・事業趣旨・内容

当法人の活動の結果報告と事業計画を周知し、活動を円滑に運営するため、年 1 回「協会たより」を発行する。

社員への配布のほか、演奏会、全国子供大正琴コンクール、総会等の当法人主催事業会場での配布や、必要に応じ郵送等で配布する。

3. 法人維持管理事業

(1) 法人の活動状況の提供

・事業趣旨・内容

大正琴の歴史、当法人の沿革及び活動に関する情報をホームページで提供することにより、当法人に対する理解を深め支援を促すとともに、大正琴音楽文化の振興と伝承を図る。

(2) ホームページの制作

・事業趣旨・内容

ホームページを通して、大正琴の歴史、当法人の沿革及び活動に関する情報を提供することにより、当法人に対する理解を深め支援を促すとともに、大正琴音楽文化の振興と伝承を図る。